

東京都東大和市 職員募集案内



令和4年4月1日入職 新入職員

東大和市ってどんなところ？



市の西部を通る多摩都市モノレール

東京都東大和市は昭和45年10月に市制を施行し、令和2年に市制施行50周年を迎えました。東京都のほぼ中央の北部に位置しており、立川市、小平市、東村山市、武蔵村山市、埼玉県所沢市と接しています。面積は13.42km²、人口は約8万5千人です。



東大和市役所 本庁舎



庁舎屋上から上北台駅を望む

東大和市は都心から西方35kmの1時間通勤圏にあります。市南部には西武拝島線が、市西部には多摩都市モノレールが通っており、交通アクセスの良さを受けて発展をしてきました。現在は、今後予測されるいわゆる「人口減少問題」に対して、市役所全体で一丸となって取り組んでいます。



庁舎屋上から狭山丘陵を望む

多摩湖の取水塔（春）



ベッドタウンとして発展を続けてきた東大和市は、市内の多くの地域が住宅地となっており、その中でも、駅周辺では高層マンションが建ち並んでいます。

市北部にある多摩湖では、都心では失われつつある自然と触れ合うことができます。特に春は桜の名所で、四季折々の様々な自然の営みを通して、都市化の街並みとの豊かな自然の調和が見られます。

市南西部に位置する都立東大和南公園内には、「旧日立航空機株式会社変電所」があります。第二次世界大戦で受けた無数の弾痕を残すこの建物を、市は文化財に指定しました。平和の尊さを後世に伝えてまいります。



旧日立航空機株式会社変電所

待遇等について

給料・手当

東大和市職員の給与に関する条例に基づき、給料及び諸手当が支給されます。

【大学卒業程度】

給料	地域手当	合計
183,700 円	22,044 円	205,744 円

この他に扶養手当、住居手当、通勤手当等が条件により支給されます。

期末・勤勉手当（4.45 か月）が支給されます。

学校卒業後に職歴等がある方は、一定の基準により加算される場合があります。

この初任給等は、令和 4 年 4 月 1 日現在のもので、採用前に給与改定があった場合は、その定めるところによります。

勤務条件

勤務時間	週38時間45分 8:30~17:15	勤務時間、週休日は業務内容により異なる場合があります。
週休日	週休2日制（土・日曜日）	
休暇等	年末年始（12月29日~1月3日） 年次有給休暇 年20日（4月1日採用の場合は年15日、翌年以降20日付与） その他、夏季休暇、出産・育児に関する休暇、慶弔休暇、介護休暇等があります。	

昨年度の採用試験実施状況について

（単位：人）

職種	申込者数	受験者数		内定者数	
		男性	女性	男性	女性
一般事務	169	70	58	5	7
一般事務 （障害者）	6	4	2	1	0
土木技術	1	1	0	1	0
合計	176	75	60	7	7

※令和 4 年 4 月 1 日付採用試験の結果

東大和市の人材育成の取り組みについて

東大和市では、人材育成に関する取り組みとして次のようなことを行っています。

① 短期のジョブローテーション

若いうちに様々な仕事を経験し自分に合う適性・能力を見つけます。

② メンター制度

職場の先輩がサポート役としてあなたを見守ります。

若手職員の育成に力を入れて取り組んでいます！

外部組織への派遣者を、希望する職員から募ります。派遣により交流を深め、視野を広げます。

令和3年度派遣先団体（実績）

- ・東京都（3名）
- ・東京リハビリテーション・パラリテーション大会組織委員会（1名）
- ・東京大学（1名）
- ・公立昭和病院（1名）
- ・その他団体（7名）

③ 庁内公募制度

《目指すべき職員像》

熱意と使命感を持ち、市民とともに、東大和の明日を拓く職員

組織の一員として

「全体の奉仕者としての使命感を持ち、チャレンジ精神とチーム力をもって仕事にあたる職員」を目指します

市民に対して

「市民から信頼され、市民とともに考え、よりよいまちづくりを、市民と協働で進める職員」を目指します

行政運営に対して

「様々な行政課題に対し、展望と広い視野をもって、的確に対応する職員」を目指します

先輩職員からのメッセージ ～未来の東大和市職員へ～

※ 所属等については、令和3年度末のものになります。

新型コロナウイルス感染症対策として通常はマスクを着用しています。

総務部 情報管理課

高橋 拓也 （令和2年度入職）

私は、入職して最初の職場である情報管理課で働いています。情報管理課では市役所内のネットワーク管理や業務で使用するパソコン及びソフトウェアの調達、設定、維持管理を行っております。最近では行政の情報化推進のために、庁内ネットワークの整備、ペーパーレス用のタブレット導入、テレワークに向けた環境整備など、新しいものを導入する事に携わっています。



情報管理課は情報システムを扱う部署ですので、専門知識が必要になる仕事ばかりですが、他部署の職員に頼られることが多く、やりがいのある部署だと思います。

私が東大和市役所の職員を目指したきっかけは、直接的に地域への貢献ができる仕事がしたいと思ったためです。市役所に入職する以前は、民間企業でシステムエンジニアとして働いておりました。顧客の会社でソフトウェア開発や維持管理を行っておりましたが、自身の仕事が顧客や社会に貢献しているのか分かりにくい環境でした。そのため、仕事に対して熱意を持つことができませんでした。

実際に東大和市役所に入職して、すぐに仕事を任せてもらい、外部の業者と関わる機会をいただきました。自身の裁量で取り組む仕事が多いため、仕事の成果が職員や市民の役に立っていると実感でき、充実して仕事に取り組むことができます。

職場環境については、とても良い環境だと思います。特に、情報化推進の取り組みで新しいシステムを導入することが増えており、どの部署でも要件定義から携わることができるため、システムエンジニアなど別業種での経験を活かして早期から活躍することもできます。

また、私生活と仕事のバランスも良いと思います。他の職員とスケジュールを調整することはありますが、自由に有給休暇を取ることができます。休日も不規則ではないので私生活の予定を立てやすいと思います。

自身の能力や経験を活かして働くことができる職場です。受験生の皆さんと一緒に仕事をできることを心からお待ちしております。

市民部 地域振興課 市民協働係 池田 奈穂 （令和3年度入職）

私は令和3年度に入職し、市民部地域振興課に配属されました。私の業務は、市内の自治会や外国人の支援、友好都市との交流事業など幅広い範囲になります。特に今年は喜多方市との友好都市関係が10周年を迎えるため、現在はその記念記事の作成を担当していますが、今まで築き上げてきた関係の節目に関われることは貴重な経験ですし、自分の発想を形にすることにやりがいを感じます。



私が東大和市で働きたいと思ったきっかけは、大学時代に友人と話している中で、東京の中でも東大和市の知名度が低いことに驚いたことです。東大和市には、豊富な自然やゆったりした街並み、飲食店の充実などたくさんの魅力があり、これらの魅力を市外にも発信したいと思い、市の職員を志望しました。

公務員の仕事は定型事務を行っているイメージがありましたが、実際働いてみるとアイデアや発想が必要な場面も多いため、入職前のイメージとギャップがありました。

市役所で働くことに魅力を感じているけれどどんな仕事が合うかわからないと考える受験生もいらっしゃると思いますが、東大和市役所は、入職して10年で3つの職場を経験できる短期ジョブローテーションという仕組みがあるので、様々な仕事に挑戦できます。

職場では若手の意見もどんどん採用されるので、自分がやりたいことにチャレンジできる環境です。また、早く仕事が身に付くようにメンター制度を導入しており、入職して半年間は職場の先輩から1対1で丁寧に指導を受けることができます。忙しい毎日ですが、仕事とプライベートとの両立はできると思います。

私は仕事帰りに市内の美味しい飲食店に行き、息抜きをしています。普段の生活の中でサービスの受け手になることで仕事のヒントが見つかることもあります。

就職活動は一喜一憂の連続で、気持ちが疲れてしまうことがあると思います。しかしそれで得た経験や人との出会い、勉強は今後社会生活を送るうえでの大きな支えになります。ご縁があって決まった就職先は、きっと自分にとって最適な場所です。皆様の就職活動を心から応援しています。

子育て支援部 青少年課 種村 双葉 （令和3年度入職）

私は令和3年度に入職し、青少年課に所属しています。青少年課では、子どもの居場所を提供する業務や、青少年の健全育成をはかる活動、関係機関のとの連携を行っています。主な担当業務は、青少年対策地区委員会と連携し、青少年健全育成活動の推進を図ることや、放課後に子どもたちの安心・安全で健やかな居場所づくりを推進するために放課後子ども教室の実施、運営等です。



コロナ禍での活動は多くの制約もあり、地区連の活動や、放課後子ども教室が中止となることもありましたが。当市の放課後子ども教室は、委託ではなく地域のボランティアの方がスタッフとなり運営しています。学校やスタッフと何度も調整を図り、約2年ぶりに活動を再開することができ、大変やりがいを感じました。

私が学生時代に市役所の職員を目指したきっかけは、子どもの居場所づくりに行政の立場から携わりたいと思ったからです。東大和市では、日本一子育てしやすいまちを目標に掲げており、子育て世代の支援に力を入れているのだと知り、東大和市の職員を目指しました。

実際に入職し、市民の方々や、学校等と直接やり取りをしながら、子どもの居場所づくりに携われていると感じています。特に担当業務のひとつである放課後子ども教室では、事務をするだけでなく、スタッフの一員として参加し、小学校に通う児童と放課後の時間を共にすることも多くあり、楽しく仕事ができています。

また、上司から「やってみたいことにはどんどん挑戦してね」と声をかけていただいたことがありました。どんなことにも臆せず挑戦することができる環境で仕事ができ、やりがいを感じています。休みの日は、職場の先輩職員とバイクでツーリングに行ったり、カフェや喫茶店でランチをするなどしてリフレッシュをしています。

市役所の仕事は、皆さんが想像している以上に幅広い分野があり、たくさんの経験ができる点が魅力のひとつです。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしております。

都市建設部 都市計画課 都市計画係 中村 友哉 （令和3年度入職）

私は令和3年7月に入職し、都市建設部都市計画課に配属されました。前職では総合建設会社に3年間勤務し、新幹線の高架橋・トンネル工事の施工管理業務に加えて、社内全体の生産性向上に向けたタブレット導入の普及プロジェクトなどを経験してきました。



入職してすぐに都市計画とは？から始まり都市計画法を中心に関連する法律や条例を勉強する毎日です。大学時代にもっと勉強しておけばよかったと後悔しています。入職して間もない頃は窓口でお客様対応をする度に、初めて耳にする用語ばかりで何もかも分からない状態でしたが、経験を重ねることによって現在では臨機応変に対応できるようになりました。最近では、先輩職員から窓口業務の対応を任せられ、係内全体の業務効率がよくなったと言われたときは嬉しく思いモチベーションアップへ繋がりました。また、現在の業務として市内の一部の地域で試行運転予定のコミュニティタクシーの停留所を整備するための図面作成や積算の業務を任されており、前職で培った経験を活かすことができ、とてもやりがいを感じております。

私が東大和市で働きたいと思ったきっかけは、大学でまちづくりに関する分野を専攻し、前職の民間企業で専門的な知識を身につけて、生まれ育った東大和市のまちづくりに携わりたいと思い受験しました。

職場環境については、入職する前のイメージとして職員の年齢層が高いイメージがありましたが、若手職員の数も多く、率先して業務を行っていたり、30代の方々が最前線で業務をしていて若い職員が活躍している職場だと感じました。また、若手職員が意見を言いやすく課内でコミュニケーションが取れているので働きやすい環境が整っていると思いました。時期によっては、届出書や申請書が集中する場合や繁忙期は多少なりとも残業はありますが、係内で話し合っ交替で休暇を取るように取り組んでいます。

プライベートについては、コロナ禍で外出する機会が減り、家で飼っている黒猫2匹と戯れたり、友達とオンラインゲームをやったりしてリフレッシュしています。また、市の野球部に所属しており練習や試合に限らず他課の先輩職員との交流を深める場あり、充実した休日を過ごしています。

最後に、初めてのことでわからないことや不安になる時もあると思います。市役所に限らず就職活動では何事も挑戦する**攻めの姿勢**が大事です。数ある就職先の候補の中で東大和市役所を選択していただけたら幸いです。

東大和市役所で是非！一緒に仕事しましょう！！

東大和市職員等の状況

職員数の状況(役職段階別・男女別) 令和4年4月1日現在

(単位:人)

役職	男	女	計
部長	10	2	12
課長	38	7	45
係長	86	17	103
主任	67	65	132
技能主任	14	0	14
主事	78	76	154
計	293	167	460

職員の休暇等の取得状況

年次有給休暇平均取得日数(令和2年)

12.5日

時間外勤務の状況

職員1人当たりの月平均時間外勤務時間(令和2年)

8.8時間

東大和市の受験を考えている皆さんへ

…職員課より

この要綱を最後まで読んでいただき、ありがとうございます！
皆さんの仲間になるメンバーの熱いメッセージが伝わったと思います。
受験にあたっては、ホームページを調べたり、現地に足を運んで、東大和市の良さや魅力を体感し、もっともっと、好きになってください。

東大和市そして地域に愛着・誇りをもって、私達と一緒に、東大和市を盛り上げていきましょう！よろしくお願ひします。

ご応募、お待ちしております。



お問合せ先

東大和市総務部職員課

〒207-8585

東大和市中心3丁目930番地

電話 042-563-2111（代表）内線 1331・1334

E-mail shokuin@city.higashiyamato.lg.jp